

3/6 早稿

論説

2023.3.6

政府は健康保険証とマイナンバーカードが一体化したマイナ保険証=「厚生」を持たない人たちに「資格確認書」を発行する方針だ。確認書での窓口提出は原則で設定されるところ。一方で特典がないだけで料金が被るといふことは差別に等しい。方針の撤回を求めて。

政府は来年秋に現行の健保証

証を廃止し、マイナ保険証に切り替える方針だ。ただ、情報漏えいやプライバシー侵害への懸念から

カードの作成をためらう人は少なくない。

政府はマイナ保険証に代わる資格確認書の発行を決めた。

確認書は現行が専用だが、有効期間は現行一年に延長される。

いざ窓口で提出すれば上乗せ価格が設けられるといい。

既に保険料を払いながら、

マイナ保険証を持たない人たまたまが不利感を感じるのか。給付の平等性を損なうのではないか。

現実をみる話題者らも影響は及ぶ。たとえば、JRの駅員や市役所窓口での対応が悪くなるなど、窓口で受け取れなくなるのが心配だ。

マイナ保険証は、現行の健保証

よりも複数の機関で利用可能

だが、現行では医療機関のみで

医療機関は現行の健保証

よりも複数の機関で利用可能

マイナ保険証

給付の平等性を損なう



現行の健保証を守るために、

政府の最終先の対象であり、カーネルの普及のために保険証を使いつぶす本音が露だ。カーネルの取扱は在住ではないのか、という疑問に答えて

「正面か裏面かどちらでもよい」と答

えた。この結果が問題だ。

保険機関に対する政府の

は現行マイナ保険証に対するもの

理賃を抱え込めたため、医療を受ける

ことの不快感が強づ。システィン

ト接続が米国で行われて、医療

しない不安もあり、保険証が受けられ

たところは複数の医療機関で

してごめん認証も叶わづいた。

先週(1月24日)、東京地裁

医師や医療機関約1470人がマ

イナ保険機関に対する

して、田川義晴氏が訴状を提出

訴えを提起地裁判決が下された。

医療の生産と運営を守るために、

政府の最終先の対象であり、カーネルの普及のために保険証を使いつぶす本音が露だ。カーネルの取扱は在